F 6　家庭の情報行動と情報活用能力の育成について

京都府大生活科学　村澤忠司
京都文教短大　○中村博幸

［目的］　社会における情報化の波は、家庭にも押し寄せてきている。その為に、家庭の情報活用能力の育成と学校教育の情報化に対応する必要性、情報環境、情報活用能力の体系的な学習をも含めて、家庭における情報行動の特性、情報の質的な変化に伴い、家庭生活（情報活動）の中で、情報の量的な増大に対応する能力の育成と向上を探る。

［方法］　1990年7月～8月の調査により、家庭生活における情報活動の中で、情報の量的な増大に対応する能力の育成と向上を探る。

［結果］　社会医療・教育や深い関心が寄せられ、情報機器の使用理解の困難さ、新しい情報手段についてへの逃避の学習をすすめ、情報活用能力の学習の工夫が求められる。